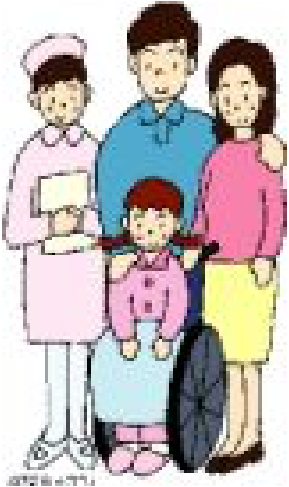


難病患者福祉見舞金支給



難病患者の生活を支援することを目的に、難病患者福祉見舞金（年10,000円）を申請によって支給します。

対象となるのは、難病患者のうち一般特定疾患患者で保健所長発行の「一般特定疾患医療受給者証」をお持ちの方です。

申請は9月末日まで、見舞金は11月に支給します。

<申請・問合せ先>

福祉事務所社会福祉課・援護係 23-7030

クールアース・デー運動展開



6月9日、公明党青年局は福田首相に、北海道洞爺湖サミットの開催初日となる7月7日を「みんなで地球温暖化対策を考える日」とする「クールアース・デー」を創設するよう署名をもって要請しました。

福田首相は「若い人が一生懸命頑張ってくれてありがたい。大変重い署名。ムダにしないようすぐに取り組む」と応え、ライトダウン運動は全国的に展開、7万を超える施設が参加しました。

実現しました！



高萩こころの里支援金 受付開始

（ふるさと納税）

「ふるさと納税」は、生まれ育った「ふるさと」を応援したい、貢献したいといった納税者の思いを実現するため、納税者が地方公共団体に寄附をされた場合、その一定限度までを所得税と合わせ個人住民税から軽減する寄附金税制のことです。

高萩市を応援してくださる人に寄付金の使いみちを選んでいただくため、次のような「高萩こころの里支援金メニュー」が用意されました。

1. たかはぎ活気あふれるまちづくり
2. たかはぎ生涯現役のまちづくり
3. たかはぎ歴史を大切にすまちづくり
4. たかはぎ教育環境充実なまちづくり
5. たかはぎエコ事業推進のまちづくり
6. その他市政全般



7月7日には、高萩市でもライトダウン運動に参加し、本庁舎の照明を完全消灯しました。

またその日は、市職員の「ノー・マイカー・デー」として、通勤にマイカーを使わない運動も実施されました。

室温を下げる緑のカーテン設置

市役所本庁舎の南側、陽の当たる窓の外に、つるもの植物をつたわせて緑のカーテンをつくる試みが実施されています。この事業は多くの自治体



で展開されており、うまくいけば-2~-3の効果が期待できます。

事例の中には-5の報告も出ています。

高萩市議会報告 平成20年6月定例会 一般質問

菊地 正芳 議員

ふるさと納税と寄付条例について
すでに制度が始まっている「ふるさと納税」と、その受け皿となる「ふるさと寄付条例」は一刻も早く対応すべき。考えを伺う。

リーベロ高萩について
施設周辺の住環境と交通安全対策を考慮し、線路側から福祉センターへ抜ける経路と、駐車方法など再検討されたい。見解を伺う。

総合福祉センターについて
浴場に健康チェックにも役立つ鏡を設置したい。また、洗髪しなくても濡れることはあるので、ドライヤーの使用を認めてはどうか。

安心・安全のまちづくりについて
自主防災組織の普及推進と、高齢者、障がい者などの災害弱者対応として、社会福祉法人や民間福祉施設を含む災害協定の拡充推進について見解を伺う。
学校施設は子どもたちが一日の大半を過ごす場所であり、災害時には避難場所に指定されている。学校耐震化事業の国の補助が強化されることが決定しているため、市の年次計画の見直しを行い、早期実施を求める。見解を伺う。



改築が予定されている松岡小学校

今川 敏宏 議員

環境問題について
環境問題に関わる論説・研究・対策等は日進月歩であり、既成論に誤りや変更が認められた場合は、即時速やかに軌道修正し、臨機応変に対応していくべき。大事なことは、環境問題にはせる精神の持続と、継続を支える心の連帯を、いかに構築できるかではないか。その意味で温暖化対策の情報を3点挙げる。

1. 生ゴミ処理のコンポストや電気式処理機に補助金を出しているが、より実用的な堆肥化方法がインターネット上で検索できるので調査検討すべきである。
2. 自転車の活用は温暖化対策、健康運動、安全・防犯パトロールを兼ねられる。
3. 緑のカーテンの推進により、特に小中学校の夏場の教室の暑さをしのぎ、学習環境を少しでも快適にする一助になると思う。以上、いずれも経費がかかるものではなく、むしろ経費削減になる。所見を伺う。

女性政策について
同取り組みが市政の人権意識に通ずる。女性政策の位置づけと考えを伺う。

協同病院跡地について
周辺地域住民に配慮した広報を求める。



格安でできる手作り生ゴミ堆肥化処理

市民相談・法律相談はお気軽にご連絡ください

連絡先 今川敏宏 電話 24 - 3079
菊地正芳 電話 23 - 7876

秘密厳守